

## 6 市場事業

### (1) 事業数

平成30年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業であり、前年度と同数となっている。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

### (2) 施設の利用状況

年間取扱高は51万8,198tで、前年度に比べ1万418t(2.0%)減少している。その内訳は、青果物が16万5,072t、水産物が33万339t、食肉・鶏卵・その他が2万2,787tとなっている。前年度に比べ食肉・鶏卵・その他が101t(0.4%)増加し、青果物が7,048t(4.1%)、水産物が3,471t(1.0%)それぞれ減少している。

年間売上高は2,067億27百万円で、前年度に比べ110億26百万円(5.1%)減少している。その内訳は、青果物が419億36百万円、水産物が1,347億32百万円、食肉・鶏卵・その他が300億59百万円で、前年度に比べ青果物が28億74百万円(6.4%)、水産物が67億76百万円(4.8%)、食肉・鶏卵・その他が13億76百万円(4.4%)それぞれ減少している。

また、市場関係業者数は卸売業者14社、仲卸業者149社、売買参加人が1,439人、関連事業者が42人となっている。

第1表 利用状況の推移

年 度		26		27		28		29		30		対前年度比較	
			構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)	a	構成比 (%)	b	構成比 (%)	b - a c	(c/a) ×100(%)
項 目													
取 扱 高 (t)	青 果 物	207,998	36.2	191,610	34.2	182,355	34.5	172,120	32.6	165,072	31.9	▲7,048	▲4.1
	水 産 物	344,731	60.0	346,984	61.9	324,031	61.3	333,810	63.1	330,339	63.7	▲3,471	▲1.0
	食肉・鶏卵・その他	21,852	3.8	21,710	3.9	22,297	4.2	22,686	4.3	22,787	4.4	101	0.4
	計	574,581	100.0	560,304	100.0	528,683	100.0	528,616	100.0	518,198	100.0	▲10,418	▲2.0
売 上 高 (百万円)	青 果 物	49,038	23.2	48,618	22.1	48,318	22.2	44,810	20.6	41,936	20.3	▲2,874	▲6.4
	水 産 物	131,861	62.5	139,893	63.5	137,316	63.2	141,508	65.0	134,732	65.2	▲6,776	▲4.8
	食肉・鶏卵・その他	30,079	14.3	31,945	14.5	31,605	14.5	31,435	14.4	30,059	14.5	▲1,376	▲4.4
	計	210,978	100.0	220,456	100.0	217,239	100.0	217,753	100.0	206,727	100.0	▲11,026	▲5.1
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	15	—	15	—	15	—	15	—	14	—	▲1	▲6.7
	仲 卸 業 者 (社)	45	—	45	—	150	—	149	—	149	—	0	0.0
	売 買 参 加 人 (人)	1,623	—	1,532	—	1,537	—	1,502	—	1,439	—	▲63	▲4.2
	関 連 事 業 者 (人)	40	—	41	—	40	—	41	—	42	—	1	2.4

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

### (3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は28億92百万円で、前年度に比べ62百万円(2.1%)減少しており、総費用は23億87百万円で、前年度に比べ22百万円(0.9%)減少している。この結果、収支差引では5億5百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が40百万円(7.3%)減少している。

また、資本的収支における収入は13億36百万円で、前年度に比べ6億17百万円(31.6%)減少しており、支出は18億40百万円で、前年度に比べ6億55百万円(26.3%)減少している。この結果、収支差引では5億4百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が38百万円(7.1%)減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は1百万円の黒字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は5百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が5百万円(52.9%)減少している。

なお、収益的収支比率は85.3%で、前年度に比べ0.6ポイント低下している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度					対前年度比較	
		26	27	28	29	30	b - a	(c/a) ×100
					a	b	c	
収 益 的 収 支	総 収 益 A	2,779	2,950	2,811	2,954	2,892	▲62	▲2.1
	営 業 収 益	1,713	1,743	1,827	1,870	1,849	▲21	▲1.1
	う 料 金 収 入	1,700	1,732	1,815	1,848	1,830	▲18	▲0.9
	受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	—
	ち そ の 他	13	11	12	22	19	▲3	▲13.4
	入 営 業 外 収 益	1,066	1,206	984	1,084	1,043	▲41	▲3.8
	う ち 他 会 計 繰 入 金	643	636	459	647	537	▲110	▲17.0
	支 総 費 用 B	2,122	2,323	2,274	2,409	2,387	▲22	▲0.9
	支 営 業 費 用	1,763	2,031	2,045	2,148	2,217	69	3.2
	出 うち 職 員 給 与 費	350	357	362	376	371	▲5	▲1.3
出 営 業 外 費 用	360	292	229	261	170	▲91	▲34.9	
出 うち 支 払 利 息	227	228	203	180	159	▲21	▲11.5	
支 収 支 差 引 (A-B) C	656	627	537	545	505	▲40	▲7.3	
資 本 的 収 支	収 資 本 的 収 入 D	3,454	2,005	984	1,953	1,336	▲617	▲31.6
	収 地 方 債	2,871	752	492	1,251	709	▲542	▲43.3
	入 他 会 計 繰 入 金	455	465	489	511	507	▲4	▲0.7
	入 工 事 負 担 金	0	0	0	0	0	0	—
	入 国 ・ 県 補 助 金	128	787	0	190	117	▲73	▲38.4
	入 そ の 他	0	0	2	0	2	2	皆増
	支 資 本 的 支 出 E	2,268	4,456	1,552	2,495	1,840	▲655	▲26.3
	支 建 設 改 良 費	1,246	3,484	538	1,452	831	▲621	▲42.8
	支 地 方 債 償 還 金 e	1,020	957	1,001	1,030	1,004	▲26	▲2.5
	支 そ の 他	3	14	13	13	5	▲8	▲63.6
支 収 支 差 引 (D-E) F	1,186	▲2,451	▲568	▲542	▲504	38	▲7.1	
収 支 再 差 引 (C+F) G	1,842	▲1,825	▲31	3	1	▲1	▲56.3	
積 立 金 H	0	0	0	2	7	4	200.0	
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	24	1,865	41	10	10	0	4.7	
前 年 度 繰 上 充 用 金 J	0	0	0	0	0	0	—	
形 式 収 支 (G-H+I-J) K	1,866	41	10	10	5	▲5	▲53.4	
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	1,861	34	0	0	0	0	—	
実 質 収 支 (K-L)	4	7	9	10	5	▲5	▲52.9	
うち 黒 字	4	7	9	10	5	▲5	▲52.9	
赤 字	0	0	0	0	0	0	—	
職 員 数	46	47	47	50	45	▲5	▲10.0	
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	88.4	89.9	85.8	85.9	85.3	▲0.6	—	